



# — 近畿川崎病研究会 —

第21回近畿川崎病研究会会長

清水 達雄

運営委員長

神谷 哲郎

運営委員

上谷 良行	上村 茂	荻野廣太郎	奥野 昌彦
尾内善四郎	神谷 哲郎	北村惣一郎	清沢 伸幸
佐野 哲也	四宮 敬介	清水 達雄	杉本 久和
鈴木 淳子	津田 悦子	寺口 正之	富田 安彦
内藤 泰顯	西岡 研哉	服部 益治	馬場 國藏
伴 敏彦	広瀬 一	藤原 久義	古庄 卷史
槇野征一郎	松田 暉	松村 正彦	三戸 壽
村上 洋介	山城 国暉	山本 隆	横山 達郎
吉林 宗夫			

顧問

田村 時緒	川崎 富作	川島 康生	濱島 義博
森 忠三			

事務局

〒100 東京都千代田区内幸町 2 - 1 - 1

帝人(株) 医薬事業本部内

TEL 03-3506-4868

## — 参加者へのお知らせとお願い —

### 1. 参加者へ

- (1)研究会開始時間は午後2時です。
- (2)研究会参加費は1,000円です。なお、本会に未入会の方は入会の程  
お願いいたします（年会費は3,000円です）。
- (3)本研究会は、日本小児科学会認定医研修単位として3単位となっております。

### 2. 演題発表者へ

- (1)口演時間は討論を十分に行いたいと思いますので7分をめぐりにお願い  
いたします。
- (2)スライドは35m/m版用とし、原則として13枚以内をお願いいたします。  
また、1面のみの使用とします。
- (3)スライドは会場入場の際「スライド受付」にご提出下さい。

### 3. 口演者へのお願い

口演内容は、Progress in Medicine 7月号（ライフサイエンス・  
メディカ）に掲載される予定ですので、次の要領でまとめて下さい。

執筆要項：400字詰原稿用紙にて、図表は別で12枚以内にま  
とめて下さい。また、200字以内の英文抄録を付して  
下さい。

原稿締切：平成9年4月30日（後日、(株)ライフサイエンス・  
メディカよりあらためてご連絡いたします。）

問合せ先：(株)ライフサイエンス・メディカ 日村昭仁

〒150 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

# プログラム

14:00~14:40

座長 西岡研哉（大津赤十字病院）

## 1. 股関節炎と巨大冠動脈瘤を合併した川崎病の女兒一例

日本赤十字社和歌山医療センター 小児科

宮崎 文, 平野聡子, 上松あゆ美, 平松英文, 奥村光祥,  
吉田 晃, 田中里江子, 百井 亨

日本赤十字社和歌山医療センター 整形外科

松下 睦

## 2. 川崎病による僧帽弁腱索断裂を来した2例

国立循環器病センター 小児科

澤田博文, 津田悦子, 小野安生, 新垣義夫, 越後茂之,  
神谷哲郎

三重大学医学部 小児科

木田和典, 梅本正和

国立療養所三重病院 小児科

宮原雅澄

上野総合市民病院 小児科

川口 寛

## 3. 最近発症した川崎病の心病変

— 心病変合併例が増えているか —

近畿大学医学部 心臓小児科

篠原 徹, 横山達郎

## 4. 新生児期に発症した川崎病不全型の2症例

日本赤十字社医療センター 小児科

稲毛章郎, 今田義夫, 金原博子, 土屋恵司, 麻生誠二郎,  
藪部友良, 大川澄男

14:40~15:20

座長 中川雅生 (滋賀医科大学)

5. 川崎病冠動脈障害の遠隔期内膜肥厚の増殖因子の関連について

東京通信病院 小児科

鈴木淳子

東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所 小児科

富田幸子, 中沢 誠

東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所 研究部

小松敬子

6. 川崎病冠動脈瘤の3次元MRI像

— navigator 3D coronary system を用い、呼吸停止を用いない描出法 —

和歌山県立医科大学 小児科

上村 茂, 小池通夫

和歌山県立医科大学 検査診断学

鈴木啓之, 平山健二

海南市民病院 小児科

笠松美恵

紀南総合病院 小児科

武内 崇

オリオノ和泉病院 循環器内科

吉田 茂, 半田暁司

7. 川崎病後心筋梗塞例における“Stunned Myocardium”

— PET を用いた検討 —

京都大学医学部 小児科

西村実保, 米村俊哉, 中田庸平, 吉林宗夫, 古庄巻史

京都健康管理研究会中央診療所

上田 忠

京都大学医学部 核医学科

工藤 崇, 服部直也, 犬伏正幸, 小西淳二

8. 川崎病急性期のQT時間について

滋賀医科大学 小児科

岡川浩人, 近藤雅典, 奥野昌彦, 藤野英俊, 西島節子,

中川雅生

17:40~19:00

座長 富田安彦（神戸市立中央市民病院）  
上村 茂（和歌山県立医科大学）

## ワークショップ

### 【ガンマグロブリン不応例の治療について】

12. ガンマグロブリン大量療法にもかかわらず、動脈瘤を形成した川崎病の2例

大阪医科大学 小児科  
片山博視, 玉井 浩  
生駒総合病院 小児科  
清水達雄

13.  $\gamma$ -グロブリン投与例における Coronary artery lesion (CAL) 出現の予測

京都府立医科大学小児疾患研究施設 内科部門  
周藤文明, 佐藤 恒, 問山健太郎, 小澤誠一郎,  
寺町紳二, 中川由美, 城戸佐知子, 坂田耕一, 神谷康隆,  
糸井利幸, 浜岡建城, 尾内善四郎

14.  $\gamma$ -グロブリン大量投与例における血中 IgG 濃度の推移

京都府立医科大学小児疾患研究施設 内科部門  
周藤文明, 佐藤 恒, 問山健太郎, 小澤誠一郎,  
寺町紳二, 中川由美, 城戸佐知子, 坂田耕一, 神谷康隆,  
糸井利幸, 浜岡建城, 尾内善四郎

15. ガンマグロブリン1回超大量療法における追加投与の現状

神戸市立中央市民病院 小児科  
富田安彦, 深谷 隆, 飯田みどり, 山川 勝

16. ガンマグロブリン不応症例の川崎病冠動脈障害について

国立循環器病センター 小児科  
津田悦子, 澤田博文, 茶堂 宏, 小野安生, 塚野真也,  
神谷哲郎

17. 選択的ウリナスタチン・免疫グロブリン併用療法の川崎病冠動脈合併症予防効果について

岐阜県立多治見病院 小児科  
中野正大, 山田祥子, 林 幸恵, 森下雅之, 岩城利充,  
豊田桃三

15:20～16:10

座長 尾内善四郎（京都府立医科大学）

**特別講演**

**【川崎病モデルと考えられる実験的マウス心血管炎について  
— その発生メカニズムと治療的試み —】**

帝京大学医学部 小児科 吉野加津哉

16:10～16:20

**【コーヒーブレイク】**

16:20～16:50

座長 清沢伸幸（京都第二赤十字病院）

9. 近畿地区における川崎病ガンマグロブリン療法に関するアンケート調査（第2報）

近畿川崎病研究会アンケート調査小委員会

清沢伸幸, 西岡研哉, 荻野廣太郎, 尾内善四郎,  
神谷哲郎, 古庄巻史, 横山達郎

10. 近畿地区における川崎病ガンマグロブリン療法について  
— 第3病日以内投与開始症例の検討（第2報） —

近畿川崎病研究会アンケート調査小委員会

荻野廣太郎, 西岡研哉, 清沢伸幸, 尾内善四郎,  
神谷哲郎, 古庄巻史, 横山達郎

11. 近畿地区の川崎病に対するガンマグロブリン療法の副作用について（第2報）

近畿川崎病研究会アンケート調査小委員会

西岡研哉, 清沢伸幸, 荻野廣太郎, 尾内善四郎,  
神谷哲郎, 古庄巻史, 横山達郎

16:50～17:40

座長 神谷哲郎（国立循環器病センター）

**特別講演**

**【川崎病とビタミンE】**

大阪医科大学 小児科 玉井 浩

# にっぽんの血液製剤です。

献血であることの誇りと重責……



静注用人免疫グロブリン製剤

## 献血ベニロン®-I

(乾燥スルホ化人免疫グロブリン) (指) (健保適用)

本製剤は、従来、献血由来血漿で製造された「ベニロン」を新たに「献血ベニロン-I」として製造承認を受けたものです。

総発売元・販売

**TEIJIN** **テイジン**

医薬事業本部 〒100 東京都千代田区内幸町2-1-1

製造元・販売

**化血研**

熊本市大塚1-6-1 〒860

### 献血由来

本製剤は、貴重な血液を原料として製剤化されたものであるので、その旨を十分留意し、適切な使用について配慮をお願いします。

冷蔵保存から室温保存になりました。

### Kenketsu Venilon®-I

●ご使用に際しましては、製品添付文書をご参照下さい。

資料請求先：帝人㈱医薬事業本部第2学術部  
化学及血清療法研究所営業部

B52

## すべらせて、切る！

気道粘膜の潤滑化に着目した新しいアプローチ



**Multi Lineup**  
ムコソルバンL  
新たな剤型が活躍

## 慢性呼吸器疾患の早朝覚醒時における 喀痰喀出困難を改善します。(夕食後投与)

※気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、塵肺症、肺結核

【効能・効果】下記疾患の去痰

急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難

【用法・用量】

通常、成人には1回1カプセル(塩酸アンブロキシオールとして45mg)を1日1回経口投与する。

【使用上の注意】

1. 副作用 (まれに：0.1%未満、ときに：0.1~5%未満、副作用なし：5%以上又は頻度不明)  
1) 消化器：まれに胃部不快感、胃部膨満感、胃痛、腹部膨満感、腹痛、下痢、悪心・嘔吐、便秘、胸やけ、食慾不振等があらわれることがある。2) 過敏症：まれに発疹、蕁麻疹、荨麻疹、皮膚紅斑、痒疹等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。3) その他：まれに口内しびれ感、上肢のしびれ感があらわれることがある。

2. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので注意すること。なお、減量が必要な場合には、錠剤等他の剤型を使用すること。

3. 妊婦への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

4. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること (PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている)。

5. その他

早朝覚醒時に喀痰喀出困難を訴える患者には、夕食後投与が有用である。

●詳細につきましては製品添付文書をご参照ください。

徐放性気道潤滑去痰剤

# ムコソルバン®Lカプセル

Mucosolvan® L Capsule (塩酸アンブロキシオール) (指)

新・発・売  
【薬価基準収載】

製造元・販売

**TEIJIN** **帝人株式会社**

医薬事業本部 〒100 東京都千代田区内幸町2-1-1



提携  
ベリンガンガイムインターナショナル社  
イングリハイムアムライン(ドイツ)

資料請求先：

帝人(株) 医薬事業本部第2学術部

MU22T 9607

作成年月1996年10月